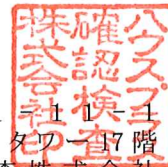




受付日：令和4年2月22日  
受付番号：HP22-KT015

## 接合部性能試験成績証



東京都港区海岸1丁目1-17階  
ニューピア竹芝ノースタワー  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 坂旗 義夫

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

令和4年4月20日

1. 接合金物名称	スチール束 ジャッキー II 1100用
2. 試験依頼者	株式会社タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	木造建築物にて使用する束金物の長期許容圧縮耐力を評価する。
4. 試験内容	床組み等に使用する(鋼製)束の圧縮試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>接合金物 「スチール束 ジャッキー II 1100用」</p> <p><u>受け部品</u> 材 質：(板部)SPHC*<sup>1</sup>(JIS G 3131) (ボルト)SWRCH35K*<sup>2</sup>(JIS G 3507) 寸 法：(板部) 88mm×88mm t=1.6mm 4-φ6mm (ボルト) 右ねじボルトW1/2 L=168.4mm ※板部中心とボルト端部の接合は全周隅肉溶接：隅肉厚さ最大8mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)</p> <p><u>ベース部品</u> 材 質：(板部)SPHC*<sup>1</sup>(JIS G 3131) (ボルト)SWRCH35K*<sup>2</sup>(JIS G 3507) 寸 法：(板部) φ80mm t=1.6mm 8-φ8mm 4-φ5mm (ボルト) 左ねじボルトW1/2 L=168.4mm ※板部中心とボルト端部の接合は全周隅肉溶接：隅肉厚さ最大8mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)</p> <p><u>ターンバックル</u> 材 質：SPHC*<sup>1</sup>(JIS G 3131) 寸 法：(外形)21.7mm×21.7mm t=1.6mm L=900mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)</p> <p><u>六角ナット(右ネジ/左ネジ)</u> 材 質：SWRCH10A*<sup>3</sup>(JIS G 3507) 寸 法：W1/2 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)</p> <p><u>スプリングワッシャー(右/左)</u> 材 質：70(GB/T 4354)*<sup>4,5</sup> 寸 法：外径φ22.5mm 内径φ13mm t=2.5mm 表面処理：HDZ35(JIS H 8641)</p> <p>*1 C;0.15%以下、Mn;0.60%以下、P;0.050%以下、S;0.050%以下の化学成分を満たす炭素鋼 *2 C;0.32~0.38%、Si;0.10~0.35%、Mn;0.60~0.90%、P;0.030%以下、S;0.035%以下の化学成分を満たす冷間圧造用炭素鋼 *3 C;0.15%以下、Si;0.10%以下、Mn;0.60%以下、P;0.040%以下、S;0.040%以下の化学成分を満たす炭素鋼 *4 C;0.54~0.81%、Mn;0.30~0.90%、Si;0.15~0.35%、P;0.030%以下、S;0.030%以下の化学成分を満たす硬鋼線材 *5 中国国家標準規格</p>
6. 試験条件等	圧縮載荷速度は、0.05mm/secとし、単調増加加力とした。
7. 試験結果	長期許容圧縮耐力 <b>4.7</b> kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和4年3月9日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。